

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

株式会社 NRS

エヌアールエス

代表取締役

なか やま すくも

中山 卓氏

取引店／福岡銀行箱崎支店

地球環境、社会との共存、業界発展  
その未来をNRSが拓きます

### 環境問題にご真ん中から向き合う仕事

当社は父が創業した福岡県糟屋郡須恵町にある中山リサイクル産業から分社化独立し、北九州市エコタウン事業の拠点である北九州市若松区の響灘沿岸埋立地にて2008年に創業した産業廃棄物処理業・産業廃棄物収集運搬業・解体事業・コンサルティング業を行う事業者です。北九州市では、1997年からエコタウン事業と呼ばれる廃棄物ゼロを目指した取り組みを

続けています。この響灘地区はエコタウン事業の拠点となり、建築廃材などのリサイクル工場、研究施設が集まって活動を行っています。

リサイクル率100%を目指して、  
廃棄物と向き合う

当社は「次世代に緑豊かな地球を託す」という経営理念のもと、再生可能な資源を取り出す事で循環型社会への貢献と環境への負荷を少なくし、

地球環境の保全に努めています。

特に産業廃棄物処理業では、埋立処分量を削減するために産業廃棄物を無駄なく、最大限にリサイクルできる体制を整えています。高性能破砕機を駆使した産業廃棄物中間処理施設では、地球環境への負荷を低減すべく10mm以下まで混合廃棄物を選別可能としています。月7千トンの処理能力を有する廃石膏ボードリサイクル施設は、国内有数、西日本最大の規模を誇ります。更に、独自の高度な処理技術を生み出すために、当社では常に処理フローを見直しながら、処理プラントの研究開発に注力しています。



パルステック(本社写真)



パリソート(ELGセンター写真)

他社に先んじて海外から最先端機器を導入しつつ、AI化や自動化などの独自の取り組みによって設備と施設の最適化を図って築き上げた唯一無二の技術とシステムは、他社が容易に真似出来ないものと自負しています。

こうした取り組みを踏まえてリサイクル率向上を社員一丸となつて目指しています。毎月HPに掲載して意識付けを行うことにより、毎年リサイクル率は増加し、今では90%近い数値を達成しています。

### 無駄のない配車管理や 広域再生ネットワークを利用した エコロジー回収活動

当社では、九州から西日本エリアまで広域に収集を行うだけでなく、より多くの資源再生のために、パートナー企業と提携して独自の「広域再生ネットワーク」を構築しています。具体的には、中間処理後の廃棄物を各再生工場へ大型車両で搬入した後に、搬入後の空車になった車両を活用し、廃棄物をルート回収しながら基地まで戻ってきています。パートナー企業と密に連携を図りながら搬入・回収・配車を行うことで、広域収集でも低コストでのサービスの提供とCO<sub>2</sub>排出量の削減を実現しています。

福岡県全域およびその近郊では、GPS運行管理システムの導入を行い、住宅街・市街地でもスピーディーかつエコロジーに収集しています。

今後は外部業者へ依頼し、まずは2025年までに年間CO<sub>2</sub>数値を把握しHPに掲載することを検討しています。あわせて環境負荷低減に資する目標を策定して、目標策定後は達成に向けて社員一丸で目指していきます。

他にも独自の「広域再生ネットワーク」の更なる効率化を図るために、今後もパートナー

企業・提携業者を増加させていくことを考えています。



車両写真

## 働きやすい職場環境の創出

### チームワークを念頭においた体制づくり

当社では若い世代や他業種からの転職者など幅広い分野の仲間がいます。そのなかで私が一番大事にしているのが「チームワーク」です。

私たちが取り扱う廃棄物は、解体現場・新築現場・工場など排出事業場が異なり同じ条件のものはありません。出荷先用途に合わせた製品も、その多様な廃棄物から品質を安定させなければなりません。だからこそ各部署との連携が必要で「チームワーク」が大事なのです。

また「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という言葉を社内に浸透させ、知らないことを恥だと思ふ風土は当社にはなく、風通しのよい職場を実現しています。

他にも当社では、日々業務をこなしていくだけの技術や知識だけではなく、今後会社の未来を担ってもらう仲間に向けて、社会人としてのコミュニケーション能力・リーダーシップを育む教育も積極的に行っています。

### ダイバーシティ実現に向けて

当社は独自の制度である「シングルマザー支援」や「休職復帰プログラム」などを導入して、女性従業員が働きやすい職場体制を築いています。

また、子どもの行事ごとなどには有給休暇をとって参加してもらおうなどして、家族との時間を大切にしながらも一人の会社員として存分に働ける職場を目指しています。

育児休暇から復帰した従業員から「家庭とキャリア、両方にきちんと向き合える職場に出会えました」など嬉しい言葉も貰っています。

### サステナブルファイナンス

#### 福岡銀行の〈FFG〉〈ポジティブ・インパクト・ファイナンス〉を利用

2023年7月に取引いただいている福岡銀行箱崎支店にて、FFG共通商品であり、また福岡銀行で新しく取り扱いを開始したサステナブルファイナンス（FFG）ポジティブ・インパクト・ファイナンス）を利用しました。

本ファイナンスは、福岡銀行独自のSDGs／ESG評価サークル「Sustainable Scale Index」

による評価結果や国際的なインパクト算定ツールを基に対話を重ね、当社の活動が環境・社会・経済に与えるポジティブならびにネガティブな影響を分析・特定し、ネガティブな効果を低減しながらポジティブな効果を増大（KPIを設定）させることで、当社の持続的な成長につながるよう、福岡銀行が中長期的な伴走支援を行う商品です。

〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンスでは、サステナビリティに関する目標を設定する必要があるりましたが、当社では「受け入れた産業廃棄物全体のリサイクル率の向上」、「女性従業員の比率増加」などの6つの目標を設定しました。こちらの目標を社内勉強会を通じて社員一丸となつて取り組んでいきたいと考えております。



中山卓社長



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の記念楯を贈呈(左から中山社長、福田支店長)

## 株式会社 NRS

■本社所在地：〒808-0021 北九州市若松区響町1丁目79番1

■電話番号：093-752-6100

■事業所：【本社工場】北九州市若松区響町1丁目79番1

【エコ・ロジスティック(ELG)センター】福岡県糟屋郡新宮町立花口左屋ノ下2191番2

【広島DEPO】広島市安佐北区安佐町久地12422 【神埼BASE】佐賀県神埼市神埼町城原1220番1

■事業内容：産業廃棄物処理業(中間処理)、産業廃棄物収集運搬業、解体事業、コンサルティング業



FFG公式YouTubeチャンネル  
では当社へインタビューして  
います。  
こちらをご覧ください。



FFGでは企業のSDGs/ESGの取り組みを支援しています

FFG公式  
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ  
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ  
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに  
関することは  
何でもご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

くまもと  
熊本ヤマハ株式会社

代表取締役  
やまもと まさひろ  
山本 雅裕氏

取引店／熊本銀行 近見支店

陸・海からお客様の快適・感動をお手伝いするヤマハ発動機製品の専門会社  
脱炭素社会実現と自社事業との共存に対する取り組み

### ヤマハ発動機製品の卸売業者

当社は1971年に先代の山本豊昭とよあきが個人創業し、オートバイやプレジャーボートなどのヤマハ発動機製品を主に取り扱う卸売業者です。1999年12月に熊本ヤマハ株式会社を設立し、2004年に私が代表者に就任しました。

現在ではヤマハ発動機製品の卸売やオートバイ・プレジャーボートの部品卸業のほか、FRP製の浮桟橋の販売や修繕、福祉用電動カートや

電動車椅子などのレンタル業、船の修理工場（サービセンタール）なども営んでおります。

メカのプロ集団として、利用いただくユーザーや販売・アフターメンテナンスをしていただく販売店様のフォローをすべく日々技術向上を図ることはもちろん、販路向けのサービス講習会の開催やリコール回収率向上のためのバックアップなども徹底して実践しております。

### 採海苔船造船業者を買収

熊本県の西に位置する有明海では海苔の養殖が盛んで、現在有明海に面した福岡県、佐賀県、熊本県、長崎県には海苔養殖の経営体が2,700あるといわれています。有明海で採れる海苔は甘味を含んだ独特の旨味が特徴で、全国的にも品質がいいとの評価を得ています。



本社

しかし海苔の収穫を行う際に使用する採海苔船は独特な形状をしており、船を造る業者は年々少なくなってきました。

当社では、前代表者が高齢で後継者不在となった熊本システム造船を買収し子会社化しました。同社では採海苔船を主に製造しており、今後は船舶の販売や部品販売などの業務拡大も視野に入れて活動しています。

## 脱炭素社会の実現と 当社事業の共存に対応する

オートバイやプレジャーボートなどの船舶は、自動車などと同様に人々の生活に欠かせないものであると同時に、使用すればするほど大量のCO<sub>2</sub>を排出します。当社が事業を拡大すればするほど、今のままならばCO<sub>2</sub>排出量が増加してしまいます。半面、気候変動に影響を与えている地球温暖化ガスの削減は待たなしの状況だと認識しています。

そのためヤマハ発動機ではBLUE COREといわれる低燃費・低炭素エンジンを開発し、オートバイの新商品を発表することに年々環境性能を強化したエンジンを搭載しており、また電動バイクの開発・商品販売も積極的に進んでいます。

プレジャーボートについてもエンジンや船体に植物由来の素材を使用した新素材を採用するなど、メーカーとしての取り組みも進んでいます。

当社はCO<sub>2</sub>を大量に排出する製品を販売する者の責務として、常に環境に配慮することを意識しています。メーカーが開発した、環境負荷を軽減するような製品を積極的に販売すると同時に、社屋の外壁塗料に断熱効果が高い材料を



サービスセンターパール(フィッシャリーナ天草(マリーナ)内のサービス工場)

採用したり、倉庫の屋根に太陽光発電設備を設置したりするなど、少しでも省エネに貢献したいと考えています。当社の売上が増加し、事業が拡大するにつれ環境負荷を軽減する製品も世の中に広まっていく、そんな好循環を実現したいと思っています。

## 農業の分野へ進出

### 農業従事者の高齢化・人手不足

当社の子会社のマツハロック九州株式会社では、IT全般に関する業務のほか、ドローン機器の販売やメンテナンス、免許講習なども行っています。

熊本県は豊かな自然を背景に米・野菜や果樹など多彩な農産物の生産が行われています。ただ農業就業人口は全国と同様に高齢化等により減少しており、熊本県の農業において重大な問題となっています。

マツハロック九州がドローン関連の事業を開始したきっかけは熊本県の農業における高齢化対策です。農業では広大な畑の測量、肥料や農薬の

散布が必要となりますが、高齢化が進む農業従事者にはかなりの負担となっています。マツハロックス九州では農業従事者の負担を少しでも軽減するよう、ドローンを使った測量や肥料・農薬散布を実現していて、それを使用するための講習などの体制も充実させています。

## 合志市との連携協定を締結

当社と株式会社レイメイ藤井（熊本市に本店を置く文具・事務機の卸・製造会社）が合弁で設立した株式会社アグリテックレイメイは、熊本県合志市と、アグリテックレイメイの農業参入に伴う地域調和等に関する協定を締結しました。

農業分野は基幹的農業従事者（自営農家）が多く、業務効率化のため先進的な技術を事業に取り入れることが資金的に難しい面があります。当社はこれまでマツハロックス九州で培ってきたドローンやIoTなどの技術を活かして、レイメイ藤井様とともにスマート農業（ロボット、AI、IoTなどの先端技術を活用する農業）による農業生産性向上を目指し、農業の業務効率化に貢献したいと考えています。

まずは合志市内のビニールハウス10棟で、センサーを活用して生育状況をデータ化したハウレン

ソウやアスパラガスの生産を開始して、ドローンを使った防除や農薬・肥料の散布を行っていきます。

また、今後はトラクターの自動運転機器の実証実験も行っていく予定です。

## サステナブルファイナンス

### 熊本銀行にてポジティブ・インパクト・ファイナンスを利用

2023年12月に取引いただいている熊本銀行近見支店にて、FFG共通商品であるサステナブルファイナンス（「FFG」ポジティブ・インパクト・ファイナンス）を利用しました。

本ファイナンスは融資時に当社の事業活動や取り組んでいるサステナビリティをもとに、サステナビリティの活動目標を設定してそれを評価していただき、融資実行後も定期的に状況を確認してもらってサステナビリティの取り組みを伴走支援いただく商品です。銀行に作成いただいた評価書は銀行のホームページで確認できますので、一度ご覧いただければ幸いです。

商品を利用するにあたり銀行への当社の取り組みの説明やサステナビリティの目標を設定するのにかかる時間と労力を費やしましたが、今回商品を利用したことで改めて当社の活動目標を決めたり、社内体制を考えるきっかけになったと思っています。

当社が事業を今後とも持続し、様々な取り組みを行っていくにあたり、時には銀行から当社へ厳しい意見をいただくこともあると思いますし、逆にこちらから申し上げることもあるかもしれません。熊本銀行様には今後ともよき相談相手となっていただくことを期待しています。



山本雅裕社長



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の記念楯を贈呈。右から山本社長、一番ヶ瀬常務(現・FFGビジネスコンサルティング専務)

## 熊本ヤマハ 株式会社

- 本社所在地：〒861-4106 熊本市南区南高江3丁目2番1号
- サービスセンターパール(サービス工場)：  
〒861-6102 熊本県上天草市松島町合津7500番地(フィッシャリーナ天草内)
- 電話番号：096-358-2000
- 事業内容：オートバイ・ボート等卸売販売、福祉用具貸与、浮桟橋販売・整備



FFG公式YouTubeチャンネル  
では当社へインタビューして  
います。  
こちらをご覧ください。



FFGでは企業のSDGs/ESGの取り組みを支援しています

FFG公式  
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ  
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ  
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに  
関することは  
何でもご相談ください